

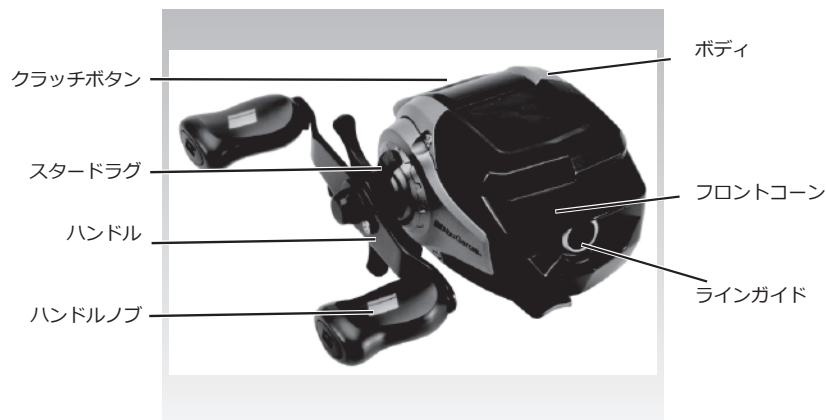
MAX^X SPINCAST

Spincast Reel

日本語版取扱説明書

このたびはアブ・ガルシアMAX X SPINCASTシリーズをお買い上げいただきありがとうございます。アブ・ガルシアリールは50年以上の間、高品質、高機能、高耐久性のリールの代名詞として知られ、今日でも、トーナメントサーキットを転戦するバスプロ、記録を目指すエキスパート、フィッシングガイドなど、世界中のトップアングラーに選ばれています。本機種の性能を十分に引き出し、あなたの釣りを楽しいものにするために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

●各部の名称



●仕様一覧表

製品名	自重 (g)	最大ドラグ力 (kg)	ギア比	最大ライン巻取 (cm/ハンドル1回転)	ボール/ローラーベアリング
MAX X SPINCAST	227	2.7	3.0 : 1	33	2

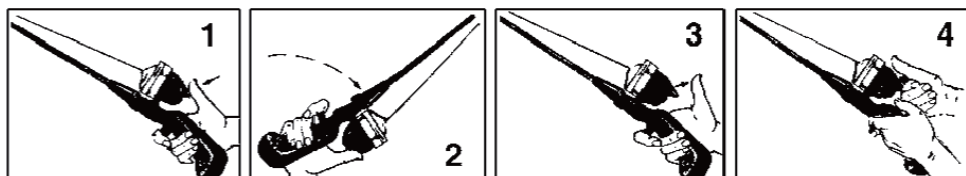
※最大ライン巻取について:最大ライン巻取はスプール径からの計算値によってハンドル1回転あたりのライン最大巻取長を表示しております。
 ※製品の各仕様・デザイン・価格については、改良等のため予告なく変更する場合があります。
 ※自重はグリス等の量により変わることがあります。

●ラインキャパシティ

製品名	ナイロンライン			付属ナイロンライン		
	号数	直径	糸巻量	号数	直径	糸巻量
MAX X SPINCAST	1.5号	-	115m	1.5号	-	115m

※ラインキャパシティについて:糸巻量は使用する各社ラインによって誤差が生じます。また、ラインを巻取るテンションによっても変化します。実釣においてはスプール径目一杯に巻くことはないので、上記の糸巻量は目安としてください。

●SPINCASTリールの投げ方



- 親指でクラッチボタンを押したまま維持してください。
- 投げたい方向を向きロッドを肩の上に持ち上げてください。
- ロッドを前に振り下ろし、10時(自分の頭より少し前)に来たらクラッチボタンを離してください。糸が出る状態になります。
- 着水したら、ハンドルを時計回りにまわしてください。糸が巻ける状態になります。

●注意

- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
 - 糸が勢いよく出ているとき糸をつかまさないでください。糸で指を切ることがあります。
 - リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、衣類を汚さないように注意してください。
 - リールを構成します各部のパーツは食用ではありません。リールは幼児の手の届かないところへ保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談ください。
 - スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る恐れがあります。
 - サミング操作をする場合、ヤケドや指をはさんでケガをする恐れがありますので、注意してください。
 - ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
 - リールを構成します各パーツは精密なセッティングにより出荷されておりますので、分解などのメンテナンスは、当社へおまかせください。
- ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社
 〒135-0042 東京都江東区木場2-15-12 MAビル
 TEL 03-6860-5180
- 仕様/デザインは改良などのため予告なしに変更することがあります。



●フロントコーンの外し方(内部で糸が絡んだ場合)



Lock状態

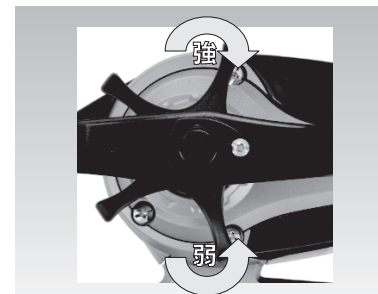
Open状態



フロントコーンが外れている状態

- ①ボディ裏側右側にあるロック機構をLockからOpen側に押しつけてロック状態を解除してください。
- ②ボディ表側にあるクラッチボタンを押して糸が出る状態にしてください。
- ③フロントコーンを外してください。
- ④内部で糸がからんでいる場合は糸がらみを直し、糸をフロントコーンよりも外側まで出してください。
- ⑤フロントコーンを戻しロック機構をLock状態に戻してください。
- ⑥ハンドルを回し糸を巻いてください。

●ドラグ調整方法



ドラグとは、魚が強く引いたときにラインを切られないように魚の引く力に合わせてラインをスムーズに送り出すシステムです。正確にドラグを調整するには「バネばかり」を使用してください。スタードラグを回転させてドラグ力の調整を行います。

まずリールをロッドに取り付け、ラインをロッドのガイドに通してからラインをバネばかりに結びます。ラインの強度の限界点に達する前にドラグが滑り出すようにします。ドラグはライン強度の1/3をはかりの目盛りがさした時に滑り出すようにセットします。ライン強度の1/3に設定する方法は一般的な目安ですので、対象魚や釣り場の状況に合わせて調整してください。ドラグが弱すぎると確実なフックセット(アワセ)が出来ませんし、強すぎると魚の強烈な引きにラインブレイクしてしまいます。(ライン強度テスト値の1/2以上の強さに調整すると、ラインブレイクする恐れがあります。)

●その他の注意点

- 根掛かりした時は竿やリールで無理にあおらないで、手に手袋やタオルつけて巻きつけ切るようにしてください。
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、衣類を汚さないように注意してください。
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- クラッチボタンを押したままハンドルを回転させないでください。故障の原因となります。
- 内部部品にはエッジ等がありますので手を切らないよう注意してください。
- リールは、精密機器であるため落としたり、衝撃を与えないよう、丁寧に扱ってください。

●保管について

- 濡れたままや、湿度の高い状態や温度の高い状態で長時間保管しないでください。(車内や道具箱など)
- 水分を良く拭き取り陰干した後、しっかりと乾燥させてください。
- 必ず竿から外した状態で保管してください。